

第 4 期 事 業 年 度
(平成 1 9 年 度)

決 算 報 告 書

国立大学法人 浜松医科大学

平成19年度 決算報告書

国立大学法人浜松医科大学

(単位：百万円)

| 区 分 | 予算額 | 決算額 | 差額 (決算－予算) | 備考 |
|---------------------|--------|--------|---------------|-------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 5,379 | 5,380 | 1 | |
| 施設整備費補助金 | 344 | 342 | △ 2 | (注1) |
| 補助金等収入 | 0 | 34 | 34 | (注2) |
| 国立大学財務・経営センター施設費交付金 | 32 | 32 | 0 | |
| 自己収入 | 12,317 | 12,415 | 98 | |
| 授業料、入学金及び検定料収入 | 622 | 619 | △ 3 | (注3) |
| 附属病院収入 | 11,528 | 11,620 | 92 | (注4) |
| 雑収入 | 167 | 176 | 9 | (注5) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 775 | 1,072 | 297 | (注6) |
| 長期借入金 | 3,544 | 3,528 | △ 16 | (注7) |
| 承継剰余金 | 8 | 7 | △ 1 | |
| 目的積立金取崩 | 593 | 626 | 33 | |
| 計 | 22,992 | 23,436 | 444 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 15,411 | 15,013 | △ 398 | (注8) |
| 教育研究経費 | 4,782 | 4,571 | △ 211 | |
| 診療経費 | 10,629 | 10,442 | △ 187 | |
| 一般管理費 | 1,819 | 1,665 | △ 154 | (注8) |
| 施設整備費 | 3,920 | 3,903 | △ 17 | (注9) |
| 補助金等 | 0 | 34 | 34 | (注10) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 775 | 991 | 216 | (注11) |
| 長期借入金償還金 | 1,067 | 1,062 | △ 5 | (注12) |
| 計 | 22,992 | 22,668 | △ 324 | |
| 収入－支出 | 0 | 768 | 768 | |

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備補助金については、基幹・環境整備事業の契約額が安価であったため、予算金額に比して決算金額が2百万円少額となっています。
- (注2) 予算段階では予定していなかった国からの補助金(附属病院対象)を獲得したため、予算金額に比して決算金額が34百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として大学院長期履修制度による履修者の増等のため、予算金額に比して決算金額が3百万円少額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、形成外科の患者数の増、手術件数の増及び入院単価の向上等により、予算金額に比して決算金額が92百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入等については、主として資金運用益の増等のため、予算金額に比して決算金額が9百万円多額となっています。
- (注6) 予算段階では予定していなかった国の組織、特殊法人からの受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が297百万円多額となっています。
- (注7) 長期借入金については、基幹・環境整備事業の契約額が安価であったため、予算金額に比して決算金額が16百万円少額となっています。
- (注8) 業務費等については、教育研究経費、一般管理費において物件費等の計画見直し等経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が552百万円少額となっています。
- (注9) (注1)及び(注7)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が17百万円少額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が34百万円多額となっています。
- (注11) (注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が216百万円多額となっています。
- (注12) 長期借入金償還金については、長期借入金の借入時期の変更及び利率の変更等のため、予算金額に比して決算金額が5百万円少額となっています。